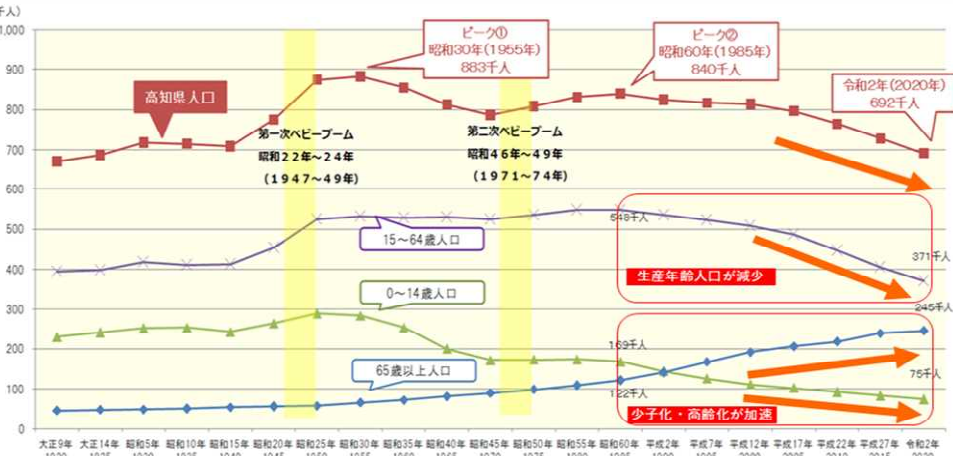


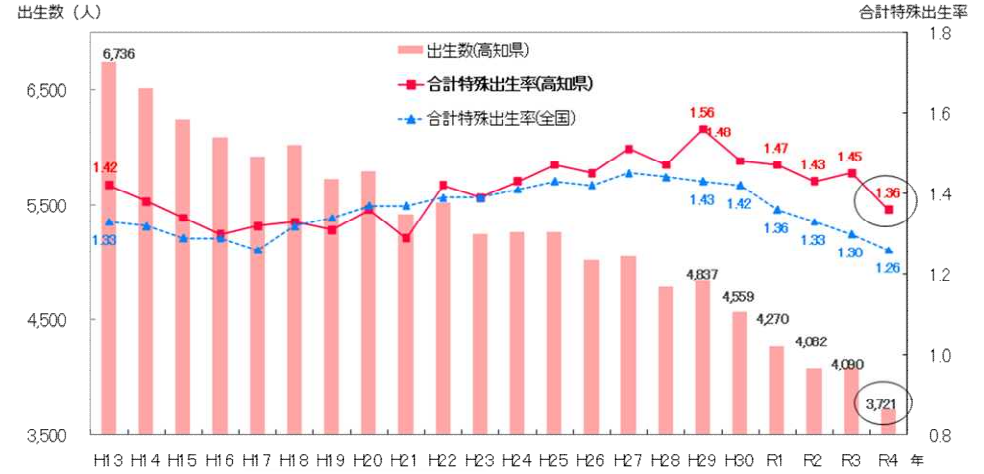
## (1) 人口及び年齢3区分人口の推移

- 本県の人口は昭和60年以降減少し続け、令和2年は691,527人  
※ 県推計人口は668,671人（令和5年6月1日現在）
- 生産年齢人口（15～64歳）は370,997人（割合は53.6%）で過去最低
- 年少人口（0～14歳）は75,171人（ " 10.9%）で過去最低
- 老年人口（65歳以上）は245,359人（ " 35.5%）で過去最高



## (2) 出生数と合計特殊出生率の推移

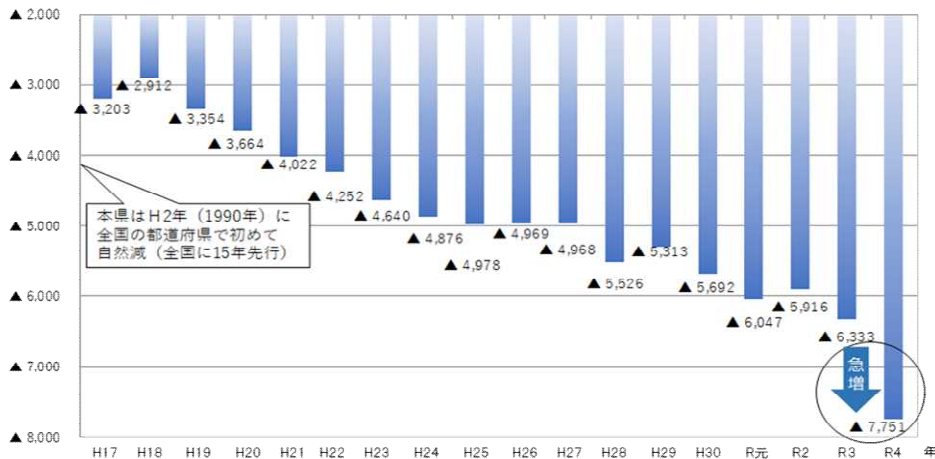
- 令和4年の出生数は、前年より369人減少し、過去最少となる3,721人で全国最少
- 令和4年の合計特殊出生率は、1.36（全国24位）で前年の1.45（全国14位）から低下



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」※R4は概数 (日本人のみ)

## (3) 自然増減

- 令和4年の自然増減数は、▲7,751人で過去最大の減少
- 出生数は、3,721人と前年より369人(▲9%)減少
- 死亡者数は、11,472人と前年より1,049人(+10%)増加



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」※R4は概数 (日本人のみ)

## (4) 社会増減 ～若年人口の減少～

- ・ 社会減の割合が大きい年齢層は「15歳～29歳」
- ・ この年齢層の県外への転出超過は男性に比べて、女性が1.14倍多い(女性△980 : 男性△860)

